

ラグビーワールドカップ2019及び 2020東京オリンピック・パラリンピック に向けた掛川市おもてなし委員会 取組基本方針



平成29年9月

掛川市スポーツ振興課

目次

1 策定の趣旨

2 基本姿勢

3 取組の3つの柱

4 3つの柱の主な取組とレガシー※

(1)両大会の成功に向けてオール掛川でおもてなし

(2)スポーツ・文化を通じた地域活性化

(3)世界へ掛川の魅力を発信

5 推進体制

6 主なスケジュール

※レガシー：ワールドカップやオリンピック・パラリンピックの開催に伴って
生み出される後世に残すべき有形または無形の遺産のこと。

1 策定の趣旨

ラグビーワールドカップ2019日本大会及び2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大規模のスポーツの祭典として、スポーツを起点に文化・観光等多様な分野で新たな発展や資質向上をもたらすことが期待されています。

掛川市では、両大会の開催を地域活性化を促進する絶好の契機と捉え、本市の持続的な発展へとつなげるため、地域スポーツの振興、観光客の増加などのレガシーの創出を図ります。

この基本方針は、両大会の開催に向け、本市における地域活性化を図る取組の方向性を示すものであります。

2 基本姿勢

- オール掛川でラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックの成功に最大限貢献する
- スポーツ・文化芸術の発展を目的とした取組により、掛川に賑わいと活力を創出する
- 世界中から様々な人々が訪れる両大会を契機に、誰もが互いに尊重し、支え合う多文化共生社会の実現を目指す

レガシー創出・掛川の更なる発展へ

3 取組の3つの柱

(1) 両大会の成功に向けて オール掛川でおもてなし

主にラグビーワールドカップ2019の試合会場となっているエコパスタジアムの玄関口として、関係機関と連携して円滑な大会運営に取り組み、国内外から訪れる人々を全力でおもてなしする。

ソフト・ハード両面の環境を整備するとともに、関連イベントなどによる機運の醸成や、事前キャンプの受け入れ等を通じた国際交流などで両大会を盛り上げ、大会開催に対して最大限の貢献をする。

(2) スポーツ・文化を 通じた地域活性化

ラグビーワールドカップ2019、2020オリンピック・パラリンピックを契機に、地域スポーツや文化芸術の振興を展開し、次世代地元アスリート、アーティストの育成や、市民の体力向上・健康増進を図る。

子どもから高齢者まで全ての年代の人々がスポーツや文化に親しむことで、心身ともに健康で生き生きと暮らす市民があふれる、元気で創造的なまちの実現を目指す。

(3) 世界へ掛川の 魅力を発信

掛川の知名度を高めるためのシティプロモーションを展開し、掛川茶をはじめとする世界に誇れる掛川のあらゆる姿を発信する。

国内外から誘客を強化し、観光客などの来訪者に「また掛川に来たい」と思ってもらえるよう、滞在環境や回遊性を充実させ、掛川の賑わいを創出する。

4 3つの柱の主な取組とレガシー

(1)両大会の成功に向けてオール掛川でおもてなし

●静岡県及び近隣自治体等の関係機関と連携・協力した大会運営等の支援

- 主な取組**
- ①競技会場周辺の警備、安全確保、救急医療体制などの各種計画策定・実施
 - ②競技会場や駅、アクセスルートなどの屋外広告物や公衆無線LAN等への対応
 - ③組織委員会と連携した大会運営ボランティアの育成・活用



●両大会に向けた機運の醸成と大会の盛り上げ

- 主な取組**
- ①両大会を市民に周知し、理解してもらうための広報活動（啓発グッズの配布等）
 - ②機運を高める大会関連イベント・スポーツ大会の実施
 - ③来訪者をおもてなしする観光ボランティアの育成・活用に向けた取組

●事前トレーニングキャンプ受入を通じた国際交流の推進

- 主な取組**
- ①事前トレーニングキャンプ地の誘致活動
 - ②練習・宿泊施設、医療・警備体制など、キャンプ受入環境の整備
 - ③キャンプ実施国との国際交流事業の実施



創出される
レガシー

- ★ソフト・ハード両面でのバリアフリーの推進
- ★ボランティア文化の醸成・定着
- ★トレーニングキャンプ実施国とのつながり
- ★多文化共生を尊重する意識や国際感覚の醸成

4 3つの柱の主な取組とレガシー

(2)スポーツ・文化を通じた地域活性化

●ラグビーの普及、スポーツへの意欲向上と地域スポーツの振興

主な取組

- ①ラグビーワールドカップ2019開催を契機としたラグビーの普及・啓発
- ②トップアスリートと市民の交流や、スポーツ著名人の講演会などを通じた運動意欲の向上
- ③市民参加型スポーツイベントの開催などによる地域スポーツの振興

タグラグビーの普及



●子どもの体力向上と高齢化に伴う、運動による市民の健康づくり

主な取組

- ①市内小・中・高等学校・特別支援学校と連携した取組
- ②健康体操やウォーキングなどの運動による生活習慣の改善
- ③子どもから高齢者まで誰もが楽しむことができる生涯スポーツの推進

●一人ひとりの市民が文化に触れることができる環境整備や支援

主な取組

- ①掛川ならではの文化プログラムの実施
- ②市民参加型文化芸術体験の取組の充実
- ③地域における文化芸術活動の充実

文化芸術体験会



創出される
レガシー

- ★市内のスポーツ実施状況の向上
- ★子どもの体力向上と、市民の健康増進
- ★文化芸術を通じて世界で活動するチャンスがあふれるまちの実現
- ★文化芸術活動の充実や支援による心豊かな市民生活の実現

4 3つの柱の主な取組とレガシー

(3)世界へ掛川の魅力を発信

●掛川の魅力発信により、国内外から人が訪れ、賑わいのあるまちづくりの推進

- 主な取組**
- ①掛川ならではの魅力創出とシティプロモーションの展開
 - ②インバウンド対応強化

●来訪者が居心地が良いと感じるまちづくりの推進

- 主な取組**
- ①バリアフリー化や観光マップ・案内表示看板等の多言語化
 - ②公衆無線LANの整備など、通信環境の向上による快適な滞在環境の提供
 - ③市街地の花や緑化による良好な景観の形成

●世界に誇る掛川のPR

- 主な取組**
- ①掛川茶及び地元特産物の試食・販売
 - ②掛川ならではの伝統文化によるおもてなし



創出される
レガシー

- ★国内外から人が訪れ、賑わいのあるまちの実現
- ★快適な滞在環境の整備（多言語看板、通信環境、バリアフリー、花・緑化）
- ★掛川ファンの獲得

5 推進体制

目的：ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、全市を挙げた協力体制を構築し、大会を契機に国内外に本市の魅力を発信することによる、交流人口の拡大とスポーツ・文化・観光・経済の振興と発展を図る。

【市内の推進体制】

ラグビーワールドカップ2019日本大会及び
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会
掛川市市内推進本部
(市長を本部長とし、副市長、教育長、各部局長で構成)

掛川市市内推進本部幹事会
(市民協働部長を幹事長とし、各関係部局内課長で構成)

掛川市おもてなし委員会作業部会

大会支援・準備部会

スポーツ・文化・地域振興部会

観光・経済振興部会

【外部との連携組織】

ラグビーワールドカップ2019日本大会及び
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会
掛川市おもてなし委員会
(市長を委員長とし、市議会議長、副市長、教育長、
市内関係機関・団体・企業等の代表で構成)

連携

両大会の成功に向け、大会組織委員会、静岡県、近隣自治体などと連携・協力

6 主なスケジュール

年度	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)
ラグビーワールドカップ	イングランド大会	・キャンプ地選定プロセス 概要発表～開始	・日本大会組合せ抽選会 ・大会スケジュール決定 ・地域予選スタート ・視察受入順次決定	開幕1年前 プレイベント	日本大会 9/20～11/2	
オリンピック・パラリンピック	・大会エンブレム発表	リオ大会 ・東京大会の追加種目決定	・大会マスコット発表		開幕1年前 プレイベント	東京大会 五輪:7/24～8/9 パラ:8/25～9/6
静岡県	・県連絡会議 ・啓発イベント		国際テストマッチ In エコパ	・テストイベント開催 ・ボランティア募集		
			交通・警備計画策定			
掛川市 おもてなし 委員会	大会支援準備部会	掛川市おもてなし委員会設立	・情報発信 ・大会補助 ・環境づくり ・財源支援	国際テストマッチ In エコパにおける 取組	全庁・全市をあげて 事業を推進	ラグビーワールドカップおもてなしイベント
	スポーツ文化地域振興部会		・スポーツ振興 ・文化・市民交流			
	観光・経済振興部会		・観光客の集客			
						取組の成果を 後世へのレガシーとして遺し、 掛川のさらなる発展へ